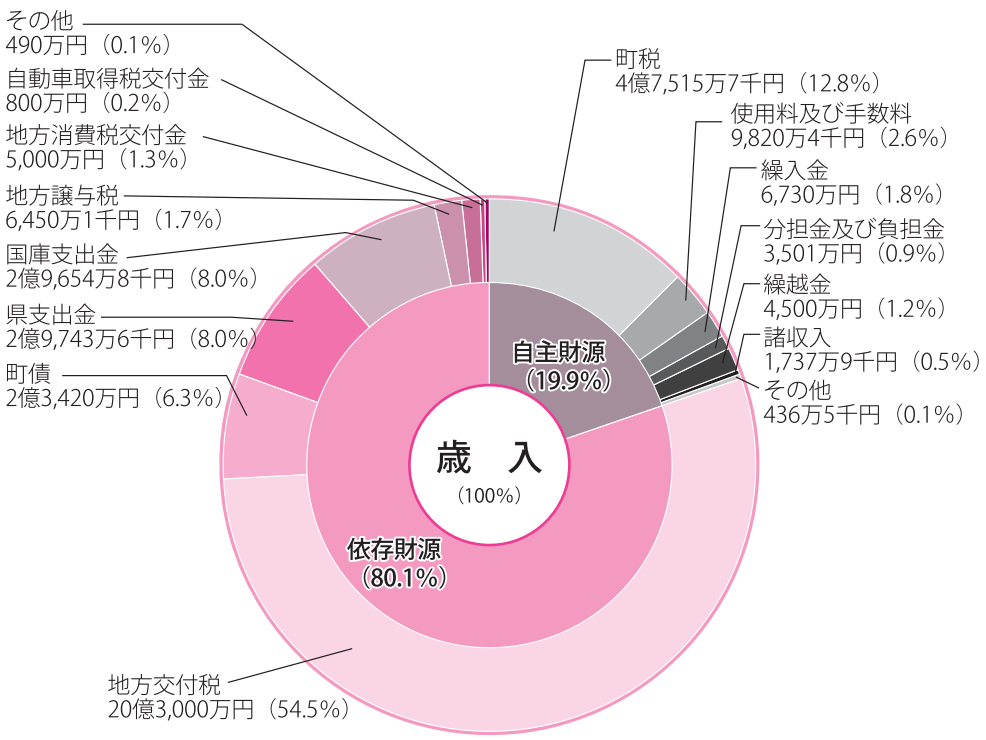
平成24年度 まちの予算

一般会計予算額は 37億2千8百万円

一般会計歳入



【その他内訳】

自主財源	財産収入 391万5千円 寄付金 45万円	依存財源	地方特例交付金 30万円 利子・配当・株式割交付金 125万円 ゴルフ場利用税交付金 200万円 交通安全対策特別交付金 135万円

解　説

歳入は、町税や使用料・手数料など町が自ら確保することができる自主財源（19.9%）と、地方交付税や国・県の支出金、町債など、ほかの財源に頼る依存財源（80.1%）に分けられます。

自主財源のうち町税は4億7,515万７千円を見込んでおり、内訳は固定資産税2億3,261万６千円、町民税１億6,609万5千円、たばこ税4,824万円、軽自動車税1,800万６千円、入湯税1,020万円となっています。また、繰入金6,730万円は町の基金（貯金）などを取り崩した額です。

依存財源で最も多い地方交付税は20億3,000万円で、率にして全体の54.5%を占めています。このほか依存財源では県支出金を2億9,743万6千円、国庫支出金を2億9,654万8千円、地方譲与税を6,450万1千円見込んでいます。また、町の借金である町債は2億3,420万円を予定しています。

■平成24 年度特別会計予算

特　別　会　計	本年度予算額	前年度予算額
国民健康保険特別会計	11億1,311万8千円	10億2,338万4千円
後期高齢者医療特別会計	8,700万円	9,132万6千円
介護保険特別会計	7億3,505万8千円	6億6,651万7千円
簡易水道事業特別会計	1億9,531万7千円	1億4,356万8千円
農業用水供給事業特別会計	2,330万3千円	4,452万3千円
鉄道経営対策事業基金特別会計	44万8千円	49万3千円

町の『借金』と『貯金』の状況

平成23年度中の「借金」と「貯金」の変動状況は以下のとおりとなっています。

●地方債（借金）の残高

22年度末　約 50億2千万円

※約３億９千万円の減

23年度末　約 46億3千万円

●財政調整基金（貯金）の残高

22年度末　約 9億1千万円

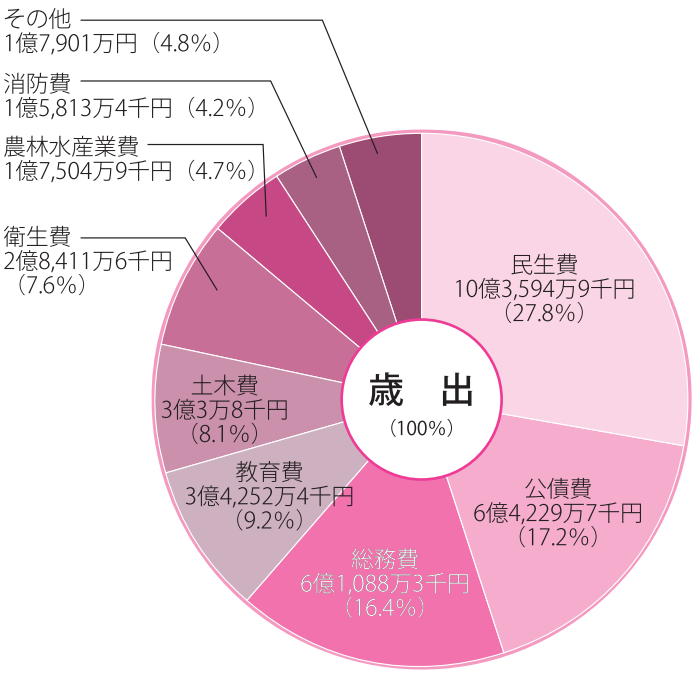
※約３億１千万円の増

23年度末　約 12億2千万円

※　借金が約３億９千万円減り、貯金が約３億１千万円増える見込みとなっており、町の財政状況は比較的安定していると言えますが、自主財源が乏しい本町は歳入の約54.5%を地方交付税に依存するなど、国の動向等外的要因に左右されやすい脆弱な財政基盤に変わりない状況です。

そのようなことから、歳入面においては町税等の収納率の向上を図り自主財源の確保に努めることと、歳出面においては限られた財源の中で最大限の効果が発揮できるよう施策の重点化を図ることとします。

一般会計歳出



【その他内訳】

商工費	8,600万5千円	議会費	7,464万8千円
予備費	1,000万円	災害復旧費	582万4千円
諸支出金	253万3千円		

解　説

歳出は、使われるお金の目的によって民生費や教育費など13項目に分けられます。

歳出のうち10億3,594万９千円と最も大きな割合を占める民生費は、福祉の充実や子育て支援などに使われます。このほか、行政運営などに使われる総務費を６億1,088万3千円、学校教育や生涯学習などに使われる教育費を３億4,252万4千円、道路整備などに使われる土木費を３億3万8千円計上しています。

また、町の借金返済に当てられる公債費は６億4,229万7千円で、全体の17.2%を占めています。

平成24年度の主な新規事業

1　観光立町基本計画策定への取り組み
2　高森町新教育プラン実施元年の主要施策として左記項目への取り組み
①小中学校の全教室に電子黒板とデジタル教科書を導入
②校務支援システム「ゆうnet」を導入
③社会科副読本の製作
3　小・中学校におけるフッ素塗布・フッ素洗口の実施
4　農林業専用窓口を設け専門相談員を配置
5　高森高校への就学経費並びに校外活動への支援
6　光ファイバー網の基本設計委託
7　バイオマス活用推進計画の策定
8　斬新なデザインを取り入れた町勢要覧を作成
9　庁内の電算システム（総合行政システム）をASP（クラウド方式）での運用へと切り替え。また、繁雑化する各種システムの効率的運用及び新たなシステム構築等のため外部委託の実施。